

E検定のご紹介資料

2022年度版

日経BPマーケティング

技術者視点

- どのスキルを高めていけばいいのか曖昧で、目標設定が定まらない。
- スキル向上へのモチベーションが上がらない。
- 社内で研修制度がなく、上司の教えのみでスキルを身につけている。
- 他者と比較した自分の技術レベルが分からない。

人事・教育 担当者視点

- 人材育成のプログラムが現場任せになっているため新しく構築したい。
- OJT制度はあるものの、部門ごとに教育方法や基準が曖昧なため、個人ごとに身につけている知識やレベルにばらつきがある。
- 面談や人事評価に活用できる、共通のものさしがほしい。
- 人材育成のサポートが充実している、ポジティブな組織風土をつくりたい。

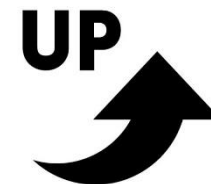
人材育成

企業の技術課題・目標に沿い、現状のスキルを把握し、不足している点を強化



動機向上

技術者は自身のスキルレベルを把握できるため、学習意欲の向上が期待できる



人材戦略

現状の人材構成の理想像と現実のギャップを明らかにして、今後の戦略に役立てる



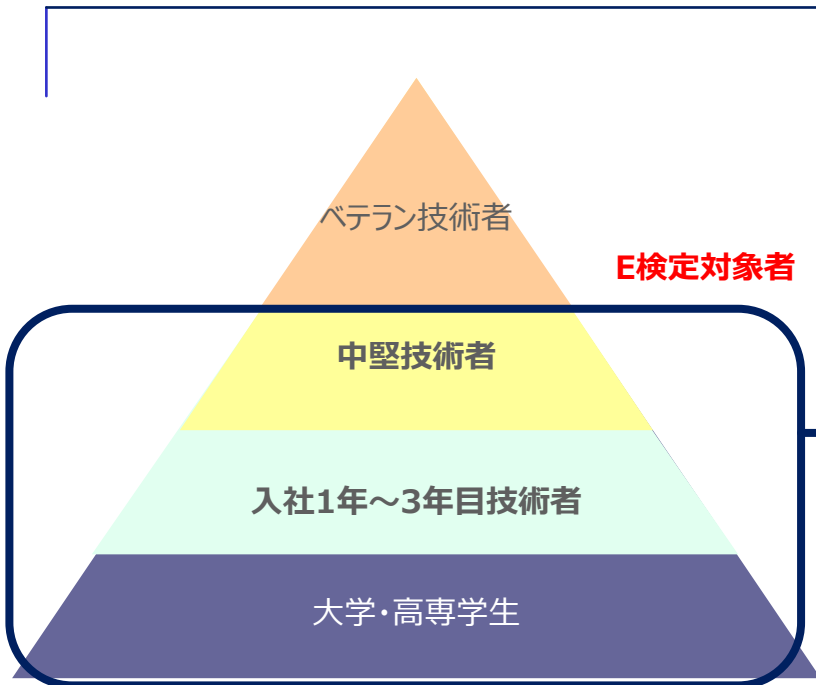
※ 評価・面談

目標設定の一つの指標として活用
E検定の結果のみで評価を行う事は難しいが、一部の指標として活用する（ものさし）



E検定の試験対象・分野・科目

技術者層



レベル基準

Level 3
(問題数:36問)



Level 2
(問題数:36問)



Level 1
(問題数:28問)

特定分野だけでなく、
工程別の問題解決に
必要な幅広い知識
(入社5年以上)

概念の応用能力
(入社3年以上)

基本的な用語と
概念の理解
(大学卒から新入社員)

※「基本分野」も同じ割合で問題数が配分されます

出題範囲

- 電子回路
- デジタル
- 電気回路
- ※上記3分野を「基本分野」とします
- 半導体
- 電磁気
- 実装
- 信頼性設計
- 計測
- コンピュータ

受験コース

すべての分野 (9分野) を受験いただく **「全分野」** コース
電子回路・電気回路・デジタルの3分野に限定した **「基本分野」** コース

E検定の試験内容

試験方式	マークシート方式（4者択一形式） 「全分野」100問、「基本分野」64問、
試験時間	「全分野」180分、「基本分野」120分
試験結果	試験結果が学習とスキルアップにつながるよう、成績表では全受験者との総合点比較のほか、得意分野・弱点の分析およびレベル1～3それぞれの結果を掲載します。不得意分野をなくして、エレクトロニクス全般でバランスのとれた知識を獲得する参考となります。 成績表のほか、受験されたすべての方に受験証明書をお送りするとともに、成績優秀者にはスキルの総合的なレベル認定証をお送りいたします。

全分野のスキルレベル			基本分野のスキルレベル		
得点	称号	スキル評価	得点	称号	スキル評価
65点以上	エバンジェリスト	エレクトロニクス技術の伝承者として、社内・業界に貢献できる。	50点以上	特級	特定分野でエレクトロニクス技術の伝承者として、社内・業界に貢献できる。
55～64点	シニアエキスパート	リーダーとしてグループを統制するのに必要な知識を持ち分析して改善できる。	40～49点	上級	特定分野でリーダーとしてグループを統制するのに必要な知識を持ち分析して改善できる。
45～54点	エキスパート	メンバーとして要求される作業を独力で実践できる。	30～39点	中級	特定分野でメンバーとして要求される作業を独力で実践できる。
0～44点	なし		0～29点	なし	

お一人から申込可能&
東京・大阪開催

①公開試験

筆記/Web試験から選択可能&
企業単位で受験日時/場所を指定

②オンサイト試験
(企業内)

E検定 公開試験の概要

公開試験の際にご提供するもの

1. 受験票
2. 採点実施および各受験者向け成績表、認定証

- ・春秋の年に2回実施
- ・東京、大阪会場で筆記試験
- ・結果は受験者本人に通知

日時	2022年 5 /28(土曜) 、11/19 (土曜)		
会場	東京会場 (有楽町電気ビル北館) 、大阪会場 (サムティフェイム新大阪)		
金額	申込人数	全分野/一人当たり	基本分野/一人当たり
	~9人	¥11,000	¥8,800
	10~50人	¥10,450	¥8,360
	~100人	¥9,900	¥7,920
	~200人	¥9,350	¥7,480
	200人以上	*別途見積もり	*別途見積もり

※上記はすべて税込価格となります。

E検定 オンサイト試験の概要

オンサイト試験の際にご提供するもの

- ・試験資材（試験問題集、マークシート問題解答用紙、アンケート用紙、マークシートアンケート解答用紙、計算用紙）＜筆記の場合＞
- ・受験者用ID・PW＜web試験の場合＞
- ・試験官マニュアル
- ・解答・解説書
- ・採点実施および各受験者向け成績表、認定証
- ・アンケート解答集計結果データ

- ・好きな試験日時、場所を指定
- ・筆記またはweb試験より選択←NEW
- ・結果は管理者様へ一括通知

申込人数	運営・管理費	全分野/一人当たり	基本分野/一人当たり
～9人	¥55,000	¥11,000	¥8,800
～50人	¥82,500	¥10,450	¥8,360
～100人	¥110,000	¥9,900	¥7,920
～150人	¥137,500	¥9,350	¥7,480
～200人	¥165,000		
200人以上	別途見積もり	別途見積もり	別途見積もり

- ※料金には会場施設利用料は含まれておりません。会場は貴社にてお手配くださいますよう、お願いいたします。
- ※試験官（貴社内社員様）の皆様へマニュアルを配布し、そちらをもとに試験の進行をしていただきます。
- ※オンサイト試験は2名様以上より申込を受付しております。
- ※上記はすべて税込価格となります。

E検定 試験結果データ (成績表)

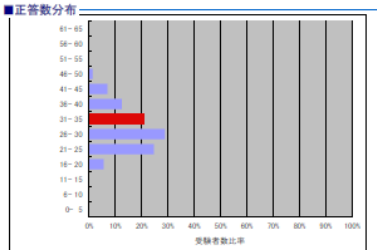


成績表
 E検定 ～電気・電子系技術検定試験～ (基本分野) 2020春
 試験日 2020/9/11(金)
 氏名 **サンプル**
 受験番号 201200101
 会場 オンライン
 成績発表発行日 2020年9月30日

偏差値 51.5

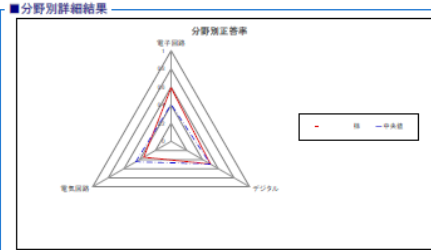
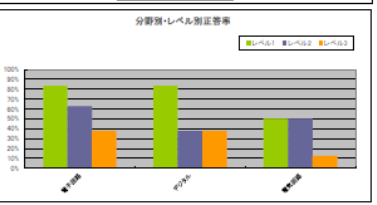
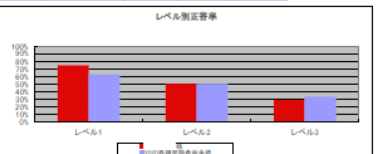
成績表 E検定 ～電気・電子系技術検定試験～ (基本分野) 2020春

	2020春期受験者 人数	2020春期受験者 平均値	2020春期受験者 最高値
正答数	31	30	29
誤答数	33	34	35
未回答数	0	1	0



■レベル別詳細結果

レベル	問数	2020春期受験者 正答数	2020春期受験者 平均値	2020春期受験者 最高値
1(10問)	12	10	10	16
2(24問)	12	12	12	21
3(24問)	7	8	8	15



■総合評価
 レベル1の正答率が最も高く、全体的に高い基礎レベルの知識を習得されています。ただし、分野毎の結果を見ると、レベル1の正答率に若干の差がありますので、総合力の基礎固めを行います。

■分野別評価
電子回路 基礎レベルの知識を習得されていることが伺えます。ただし、基礎の応用である『ダイオードの温度特性』の設問や、問題解決に必要な知識である『ハイポートランジスタの紙箱音化』の設問などが不正解でした。基礎レベルの知識を習得されていることが伺えます。ただし、基礎の応用である『2の補数表現』の設問や、問題解決に必要な知識である『論理回路の簡略化』の設問などが不正解でした。一定の知識の応用力をお持ちです。ただし、基礎知識である『キルヒホッフの第2法則』の設問や、基礎の応用である『コンデンサの誘電正接』の設問などが不正解でした。

サンプル

- ・他社技術者との比較
- ・分野別の評価
- ・レベル別の評価

■採点結果(○=正解、×=不正解、未=未回答)

出題分野	問題番号	レベル	採点結果	回答	正解
電子回路	1	1	×	エ	ウ
	2	1	○	ウ	ウ
	3	1	○	イ	イ
	4	1	○	エ	エ
	5	1	○	ア	ア
	6	1	○	イ	イ
	7	2	×	エ	イ
	8	2	○	ウ	ウ
	9	2	○	ア	ア
	10	2	○	イ	イ
	11	2	○	イ	イ
	12	2	×	イ	エ
	13	2	×	イ	エ
	14	2	○	イ	イ
	15	3	×	ウ	イ
	16	3	○	ウ	ウ
	17	3	×	ウ	エ
	18	3	×	エ	ウ
	19	3	○	ウ	ウ
	20	3	×	ア	ウ
	21	3	×	ウ	ア
	22	3	○	ウ	ウ
デジタル	23	1	○	ア	ア
	24	1	×	エ	ア
	25	1	○	ウ	ウ
	26	1	○	エ	エ
	27	1	○	イ	イ
	28	1	○	エ	エ
	29	2	×	ア	エ
	30	2	○	イ	イ
	31	2	×	イ	ア
	32	2	×	エ	イ
	33	2	○	エ	エ
	34	2	×	ウ	イ
	35	2	×	エ	ア
	36	2	○	イ	イ
	37	3	○	ウ	ウ
	38	3	×	イ	ウ
	39	3	×	ウ	イ
	40	3	×	ア	イ
	41	3	○	ウ	ウ
	42	3	×	イ	ア
	43	3	×	イ	エ
	44	3	○	イ	イ
電気回路	45	1	×	イ	ア
	46	1	○	イ	イ
	47	1	×	エ	イ
	48	1	○	ウ	ウ
	49	2	×	イ	ウ
	50	2	○	イ	イ

出題分野	問題番号	レベル	採点結果	回答	正解
電気回路	51	2	○	ア	ア
	52	2	×	ア	エ
	53	2	○	エ	エ
	54	2	×	エ	イ
	55	2	×	ア	ウ
	56	2	○	イ	イ
	57	3	×	エ	ウ
	58	3	×	エ	ウ
	59	3	×	イ	エ
	60	3	×	エ	イ
	61	3	×	ウ	ア
	62	3	○	イ	イ
	63	3	×	ウ	ア
	64	3	×	エ	イ

全分野、基本分野どちらもご用意がございます

御申込・御請求のフロー

① 公開試験

① 受験コース・人数・会場の希望連絡



② 受験名簿フォームへの記入・返送



③ 受験票のご送付

② オンサイト試験 (企業内)

① 受験コース・人数・受験日・筆記またはwebの希望連絡



② 受験名簿フォームへの記入・返送



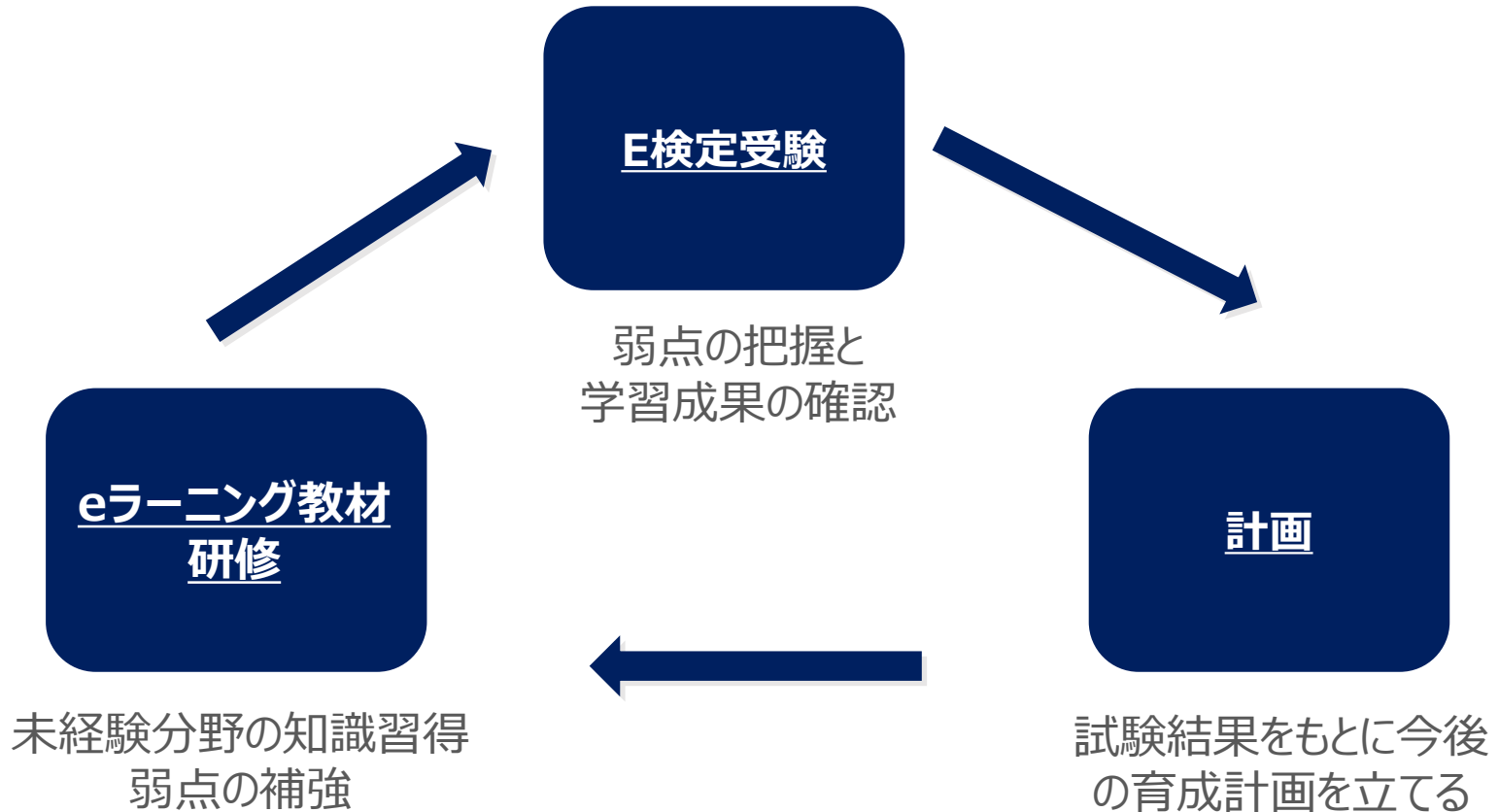
③ 筆記試験資材またはweb受験案内のご送付

試験の実施日の属する月に御請求書を発行します。お振込み期限は翌月末です。

参考資料

E検定を活用した技術者スキルアップ例

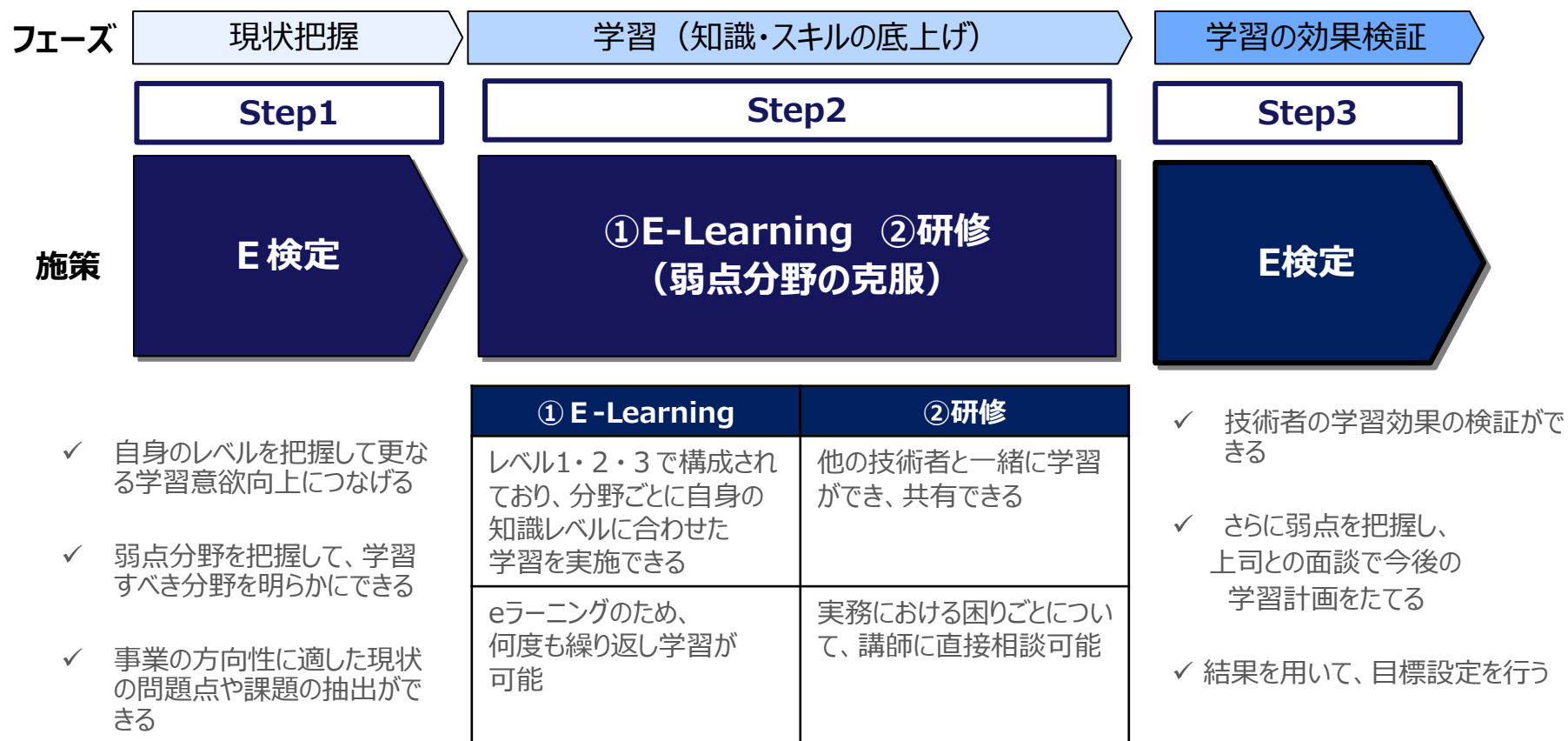
E検定で弱点を把握、Eラーニングもしくは研修で弱点を補強し、そしてまたE検定で学習成果を確認というように技術力を向上させ、スパイラル式に技術者レベルを上げることができます。



E 検定活用プラン 案①

ポイント【モチベーションアップ】

最初に E 検定を実施することで、自身の強みや弱みを認識し、社内外の技術者との相対評価によって学習意欲の向上を目指します。

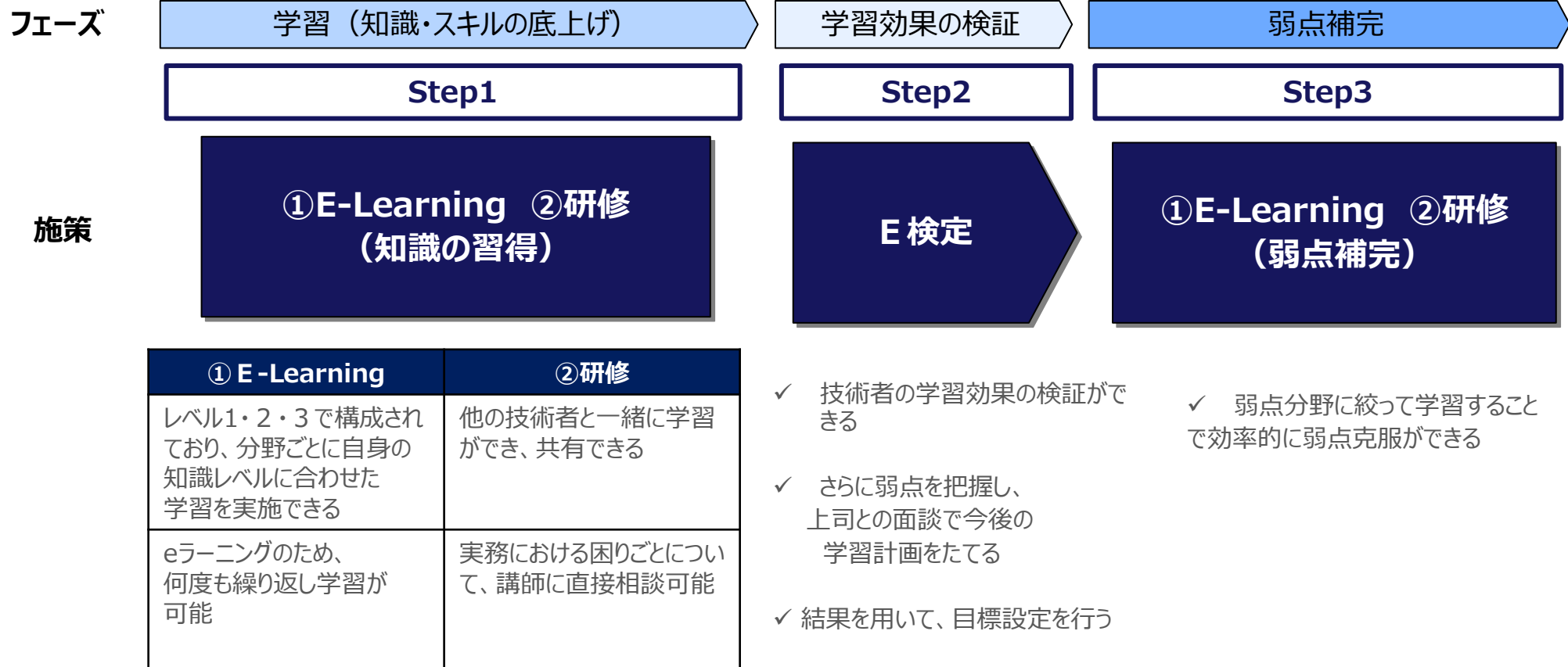


※研修形式は、リアルまたはオンライン型を選択できます。

E検定活用プラン 案②

ポイント【共通の学習支援】

最初に共通の学習機会を提供することで、今までバラつきのあったインプット知識の共通化を目指します。



※研修形式は、リアルまたはオンライン型を選択できます。

【特徴】

①全**11**科目、**306**の学習項目、合計**1500**問以上の収録問題

電気・電子系、機械系を合わせたの合計となります。

②設計・開発経験者が執筆した質の高い問題と解説

③レベル1・2・3で構成されており、自分の知識レベルに合わせたスキルアップが可能

④修了テストにて、各分野の理解度をチェック

■受講期間：半年間

■管理者機能：付与可能

科目	収録項目・問題数	学習時間目安	価格/1人(税込)
電子回路	48項目150問以上	14時間	¥11,400
デジタルとコンピュータ	47項目150問以上	13時間	¥11,400
電気回路	28項目100問以上	9時間	¥11,400
半導体	28項目150問以上	9時間	¥11,400
電磁気	22項目120問以上	6時間	¥8,200
実装	26項目120問以上	7時間	¥8,200
信頼性設計	12項目70問以上	3時間	¥8,200
計測	27項目150問以上	9時間	¥8,200
材料	19項目100問以上	6時間	¥8,200
加工	22項目100問以上	7時間	¥8,200
機構設計	27項目150問以上	9時間	¥11,400

受講期間：半年間

【研修概要】

- E検定のレベル1を基本に、電気・電子系分野+機械系分野の全11講座をご用意
- リアル研修とオンライン研修のどちらでも対応可能
- 分野・項目を組み合わせた研修のカスタマイズが可能

【研修効果】

- 経験豊富な講師が丁寧かつわかりやすい指導
- アナログとデジタルの融合製品の開発に必要な基礎知識の習得
- 設計・開発経験者執筆教材により知識の応用力の向上
- 品質の考え方や解析力を習得

参考 「技術講座」 レベルと講座時間について

レベル1：基本的な用語と概念を理解します。

レベル2：概念の応用を学習します。

レベル3：現場での問題解決に必要な知識を身につけます。

各講座の時間数は、参加者の経験やレベルによりカスタマイズが可能です。

講座名	時間 (H)	レベル1	L2, L3の一部が含まれます。
電子回路	6	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
コンピュータとデジタル	1.5	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
C言語	6	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
電気回路	3	<input type="radio"/>	
半導体	1.5	<input type="radio"/>	
電磁気	1.5	<input type="radio"/>	
実装	3	<input type="radio"/>	
信頼性設計	1.5	<input type="radio"/>	
計測	3	<input type="radio"/>	
材料・加工	3	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
機構設計	3	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

参考「技術講座」概算費用

内容	費目	数量	金額（税込）
1.5時間講座	講師費+テキスト代金	1回	297,000円～
3時間講座	講師費+テキスト代金	1回	423,500円～
6時間講座	講師費+テキスト代金	1回	654,500円～

【追加費用】

※上記はカスタマイズなしの場合の30名様での概算金額となります。
 ※人数はご相談可能です。

研修形式	費目	数量	金額（税込）
リアル研修	講師派遣費（宿泊費用+交通費）	1式	実費
オンライン研修	オペレーター（オンライン）	1式	33,000円～
	スタジオ利用料	1式	33,000円～

- ・オンラインで開催する場合はオペレーター必須ですが、貴社でリアル形式で開催の場合は、最大30名様まではメイン講師1名でご提供可能です。
- ・貴社で開催の場合、講師の交通費、宿泊費（必要に応じて）は別途ご請求いたします。
- ・その他研修内容のカスタムをおこなう場合は、追加費用がかかります。
- ・オペレーター、スタジオ利用料は、講座時間によって変動します。



氏名	三浦 元（みうら はじめ）氏
現職	株式会社テクノホロン 代表取締役
	株式会社サートプロ 技術講師
業務分野	メカトロニクス（産業機器，特に半導体製造装置）機器のシステム設計，画像データ処理
経歴	新潟大学大学院理学研究科 修了
	株式会社東京精密入社
	組込みソフトウェア管理者・技術者育成研究会 理事
	株式会社テクノホロン 代表取締役就任
著書・講演	組込み現場の「C」プログラミング - 基礎からわかる 徹底入門（技術評論社）
	新人技術者のための、工程と品質確保のための基礎知識（SESSAME）
	「TRON × XDev パネルセッション エンタープライズ開発者を、組込み開発者にするには」（主催：日経 BP 社）
その他活動	ソフトウェアテストシンポジウム (JaSST) Niigata 実行委員（2011年～2019年）
	大学・専門学校、特定企業でのオンサイトセミナー講師

会社名	株式会社サートプロ
設立	2006年3月3日
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ Certification (資格検定事業) <ul style="list-style-type: none"> ・資格認定・検定試験事業化支援 ・試験配信システム開発・導入支援 ・問題作成システム開発・導入支援 ・事務局運営アウトソーシング ■ Professional (人材育成・教育支援事業) <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成・教育支援 ・マルチデバイス技術者養成講座 ・組込み・IT技術者育成 ■ Consulting (コンサルティング事業) <ul style="list-style-type: none"> ・マルチデバイス向けアプリ開発 ・評価・サンプル・プロモーションアプリ開発(Android, iOS, WindowsPhone, etc) ・技術者スキル標準策定支援 ・教育教材・コンテンツ・書籍開発 ・普及・啓蒙活動とプロモーション ■ メンタルヘルスケア事業
代表取締役CEO	近森 満氏
加盟団体	公益財団法人 画像情報教育振興協会 (CG-ARTS協会) 社団法人組込みシステム技術協会 (JASA) 社団法人コンピュータソフトウェア協会(CSAJ) 一般社団法人 Open Embedded Software Foundation(OESF) 一般社団法人 データサイエンティスト協会 一般社団法人 IT職業能力支援機構(IT-CASA) 東京商工会議所 Knowledge & Technology Information Network(KT-NET) IoT検定制度委員会(IoTee) PHP認定インテグレーター (BOSS-CON JAPAN) アジャイルソフトウェア開発技術者検定試験コンソーシアム NPO法人組込みソフトウェア管理者・技術者育成研究会(SESSAME) 電気・電子系技術者育成協議会
住所	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本社 ■ 代々木研修センター 〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-36-6 代々木駅前ビル7F TEL : 03-6276-1168 / FAX : 03-6276-1169

ご挨拶

技術者向け資格試験・認定制度の企画・開発・運営等の教育支援業務を事業の中核としています。人材育成の教育支援事業を通して、今後の日本のものづくり技術やユビキタス社会の発展に寄与し、ひいては日本のものづくりのカルチャーを世界に発信することを目標にしています。

ミッション・ステートメント

プロフェッショナルな新しい資格試験プログラムの企画・立案、構築、マーケティング、プロモーション、運営事務等を行い、新しい技術やスキルの普及・啓蒙活動、技術者への技術習得支援の実施、技術スキルの評価・認定事業に対するマーケットモチベーション向上を通じて、社会に貢献することをミッションとしていく会社であること、その想いを社名としています。

詳細・プラン内容・費用に関するお問合せ

株式会社日経 B P マーケティング
法人営業ユニット 法人営業第二部

E-mail : kenshu@nikkeibp.co.jp